

公共施設
20%削減計画

小学校7校を4校に削減？

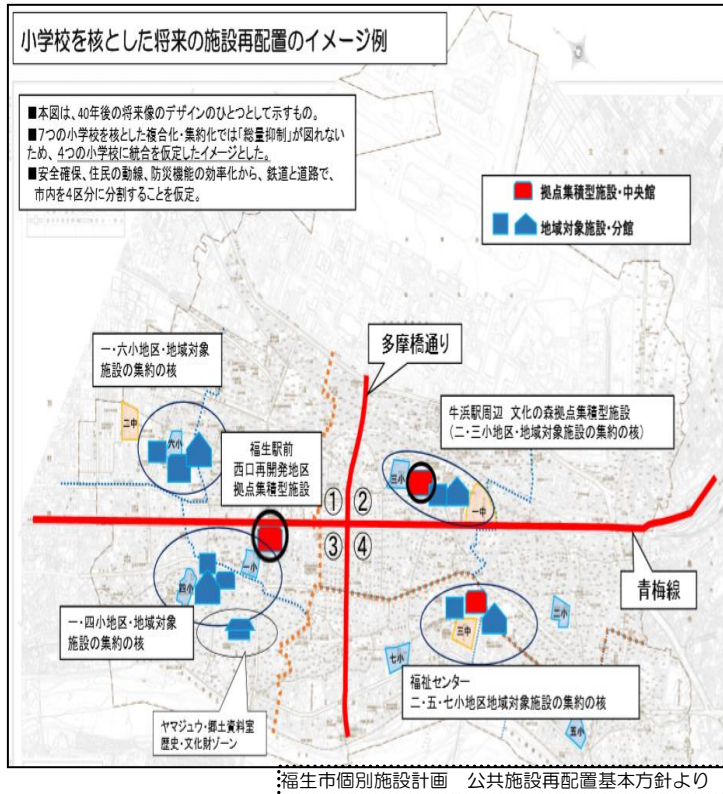
福生市は公共施設を20%削減することとし、そのために小学校を現在の7校から4校に削減し、その4校を中心に児童館、図書館、公民館、学童クラブなどを再配置し、施設の共用や複合化を図っています。

この計画には大きな問題があります。まず、子どもたちの教育にマイナスになることです。遠くまで歩いて通う子の負担が大きくなります。世界で常識の少人数学級をこれからもずっと導入しないという前提に立っています。子どもの学力向上にも、先生方の過労死ライン越えの長時間勤務解消にも

不可欠な少人数学級です。近い将来、少人数学級を実現することは、日本の最大の教育課題です。25人、30人学級なら、今の1.5倍の教室が必要になります。4校では対応できません。

さらに、公共サービスの低下になるということも問題です。これまでは、福生市は、東京26市平均よりも広い公共施設を整備してきました。その結果、200を超える公民館サークルが生まれ、市民の活発な文化・学習活動が展開されてきました。これは福生市の誇りです。それなのに、20%公共施設削減は、東京26市平均の市にレベルダウンさせることにほかなりません。今でも、活動施設が不足していて、毎月の抽選で外れたサークルが出ているのです。

私は、すべての施設に長寿命化工事を実施することで、財源的にも、今の施設を十分に維持していけると考えています。歩いて行かれるところに、必要な公共施設がある、遠い公共施設には市内循環バスで気軽に行かれる、そういう福生市にしたいと思います。



日本共産党 福生市議会議員
いけだ こうぞう
池田公三

がご相談に応じます。

日時は、お電話いただければ、調整いたします。

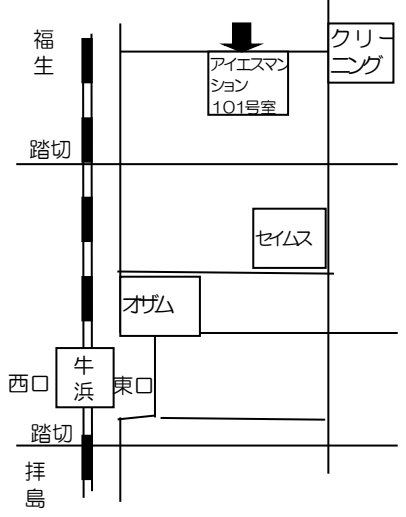


なんでも生活相談

5月のなんでも生活相談会のお知らせです。困っているのに、誰にも相談できずにいる方はいらっしゃいませんか。どうぞお気軽にご相談ください。

日時 5月12日(火) 午後7時から

場所 池田公三事務所 (駐車場あります)
福生市志茂115 アイエスマンション101号室
Tel 042-530-0705



日本共産党福生市委員会は池田公三さんの活動について発表しました

福生民報 発行 2020年5月号外
日本共産党福生市委員会
責任者 太田
福生市志茂 115 101号室